

2024年度上半期 業績の概要

2024年11月25日

日本生命保険相互会社
Nippon Life Insurance Company

目次

1 グループ概況

2 国内生命保険事業

3 業績見通し

【参考】グループ各社の概況

① 決算のポイント

グループ

保険・サービス収益*



4兆2,216億円

(うち保険料等収入 3兆9,956億円)

前年同期比 ▲0.4%

- ニチイホールディングスを新たに連結対象とした一方、日本生命の金融機関窓販チャネルの減少や団体年金での減少により横ばい

基礎利益



4,866億円

前年同期比 +36.0%

- 日本生命、ニッセイ・ウェルス生命の利息及び配当金等収入の増加を主因に増益

新契約年換算保険料



2,485億円

前年同期比 ▲1.8 %

- 日本生命の代理店・金融機関窓販チャネルの減少を主因に減少

保有年換算保険料



4兆7,668億円

前年度末比 +0.2%

- 日本生命で減少の一方、ニッセイ・ウェルス生命の増加により横ばい

個人保険・個人年金保険
国内生命保険

グループ

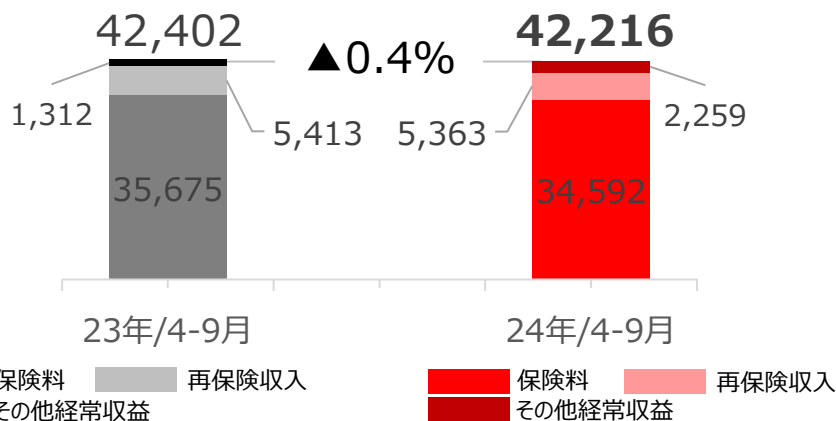
2024年度業績見通し

減収・増益

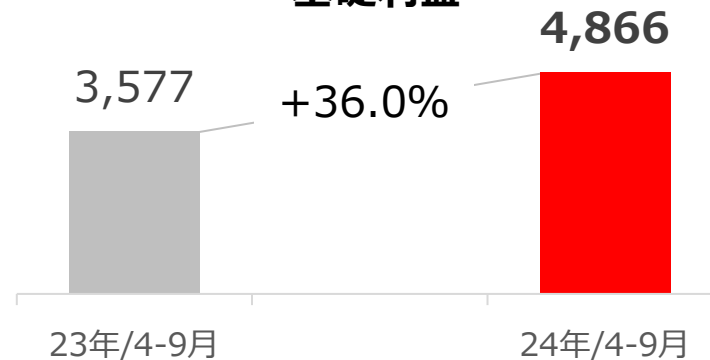
- 保険・サービス収益は、日本生命、ニッセイ・ウェルス生命における減少を主因に減収
- 基礎利益は、利息及び配当金等収入の増加を主因に増益

② 保険・サービス収益／基礎利益

保険・サービス収益 (単位：億円)



基礎利益 (単位：億円)



	2024年 4-9月	前年同期比
保険・サービス収益	42,216	▲0.4%
保険料等収入	39,956	▲2.8%
保険料	34,592	▲3.0%
再保険収入	5,363	▲0.9%
日本生命	24,465	▲6.1%
大樹生命	4,135	+2.1%
ニッセイ・ウェルス生命	9,651	+0.9%
はなさく生命	303	+111.6%
MLC	1,148	+7.6%
その他経常収益	2,259	+72.1%
ニチホールディングス	761	—

	2024年 4-9月	前年同期比
基礎利益	4,866	+36.0%
利差益	2,381	+82.2%
保険関係損益	2,269	+4.9%
日本生命	4,324	+27.3%
大樹生命	67	▲6.6%
ニッセイ・ウェルス生命	315	+162.3%
はなさく生命	▲55	+53.4%
MLC	21	▲64.9%
ニチホールディングス	39	—

※ 保険・サービス収益の合計値は、連結損益計算書における保険料等収入およびその他経常収益の合計

※ 保険料等収入の合計値は、日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、ニッセイプラス少額短期保険、MLC Limited（以下、MLC）、米国日生を対象に算出

※ ニチホールディングスの数値は、連結後の実績（2024年7月以降）

※ 合計値は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の基礎利益、海外保険子会社・関連会社および国内外のアセットマネジメント事業子会社・関連会社、ニチホールディングスの税引前純利益に、持分比率を乗じ、金利変動要因の除外、一部の内部取引調整等を行い算出

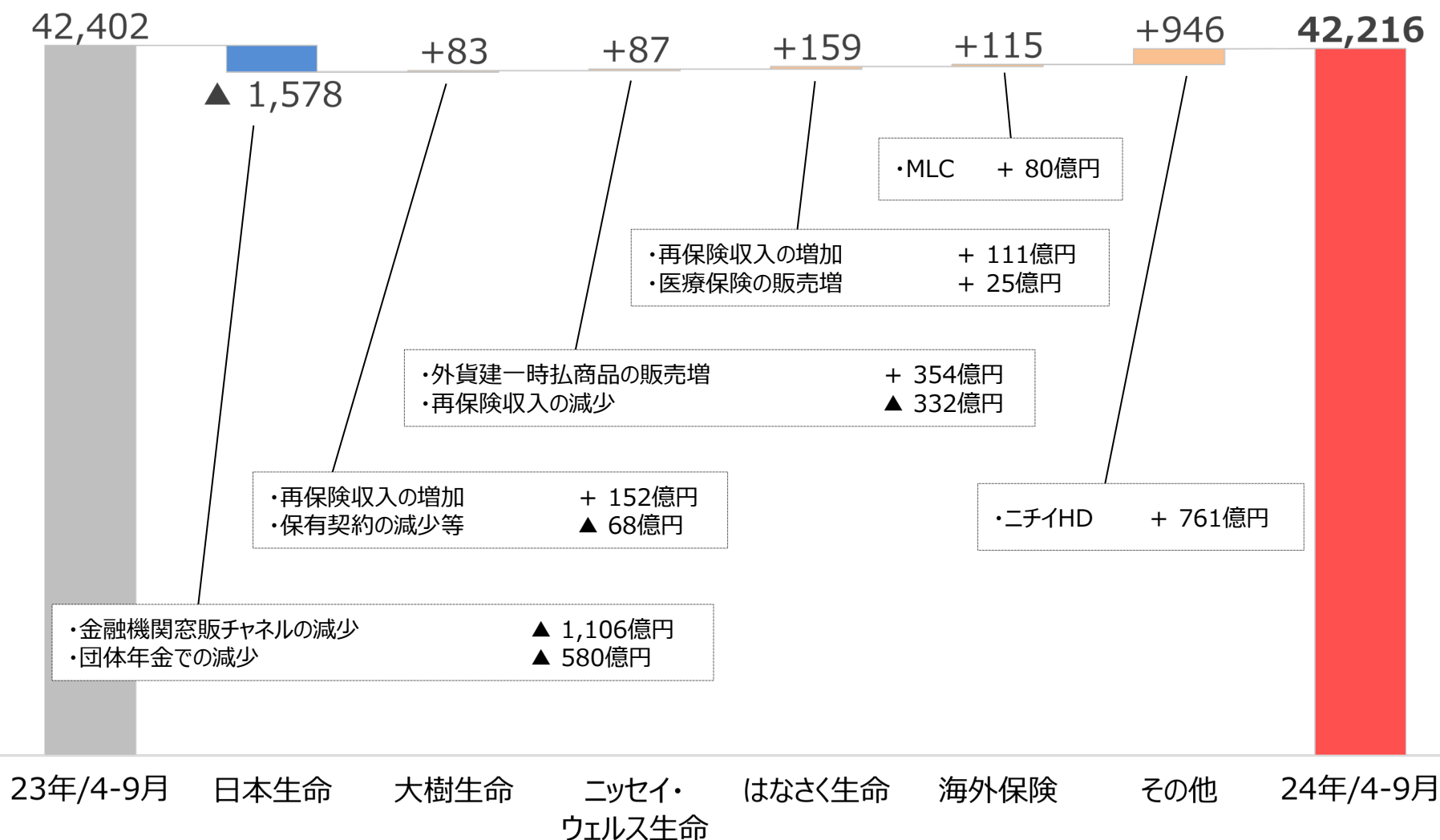
※ 利差益および保険関係損益は国内生命保険の合計

※ 子会社の数値は、対象年度当時の持分比率に基づいて算出

※ ニチホールディングスの数値は、連結後の実績（2024年7月以降）

③ 保険・サービス収益

(単位：億円)



保険料等収入

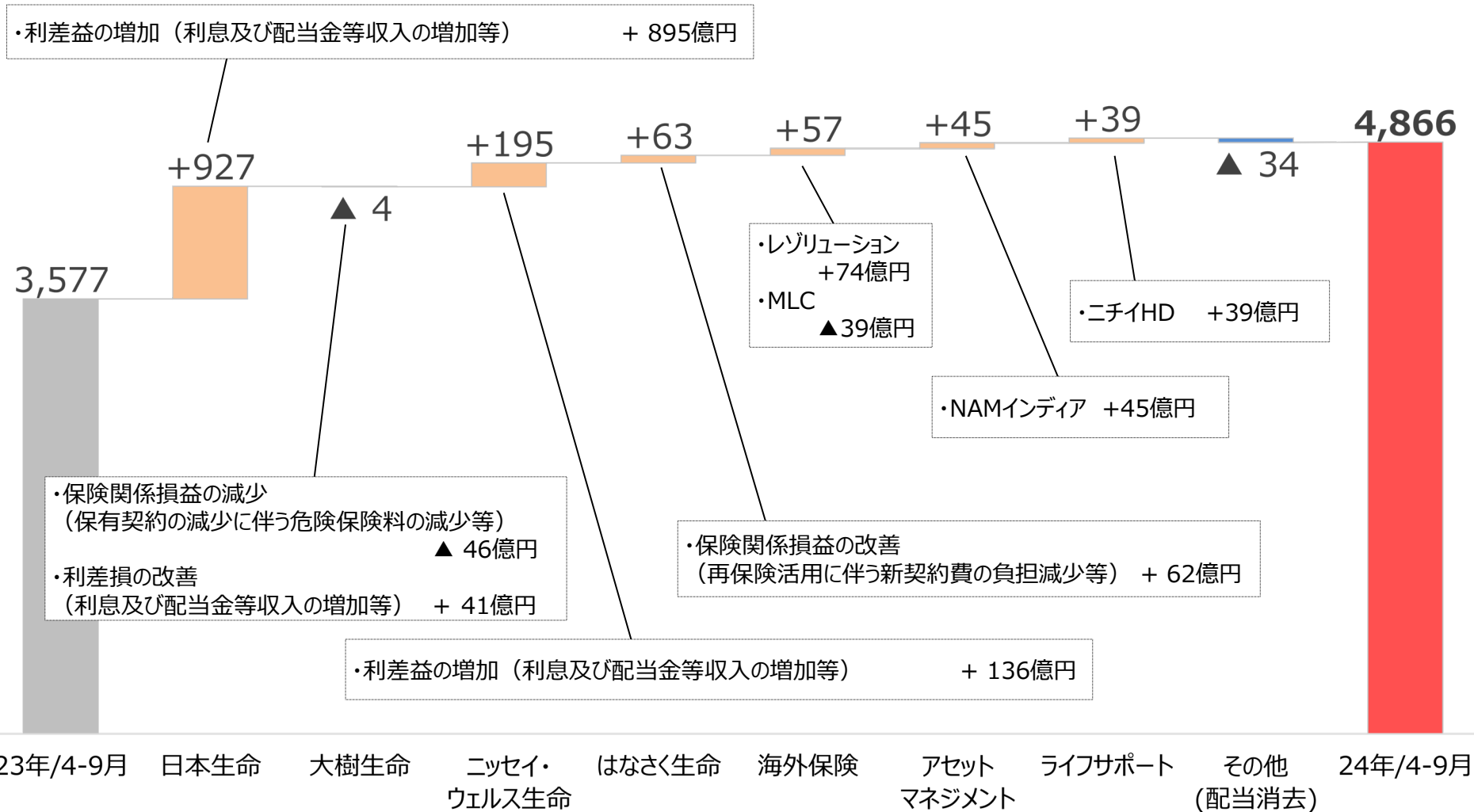
その他経常収益

※ 保険・サービス収益の合計値は、連結損益計算書における保険料等収入およびその他経常収益の合計

※ 【会社名称】 ニチイHD：ニチイホールディングス

④ 基礎利益

(単位：億円)



※ 合計値は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の基礎利益、海外保険子会社・関連会社および国内外のアセットマネジメント事業子会社・関連会社、ニチイホールディングスの税引前純利益に、持分比率を乗じ、金利変動要因の除外、一部の内部取引調整等を行い算出

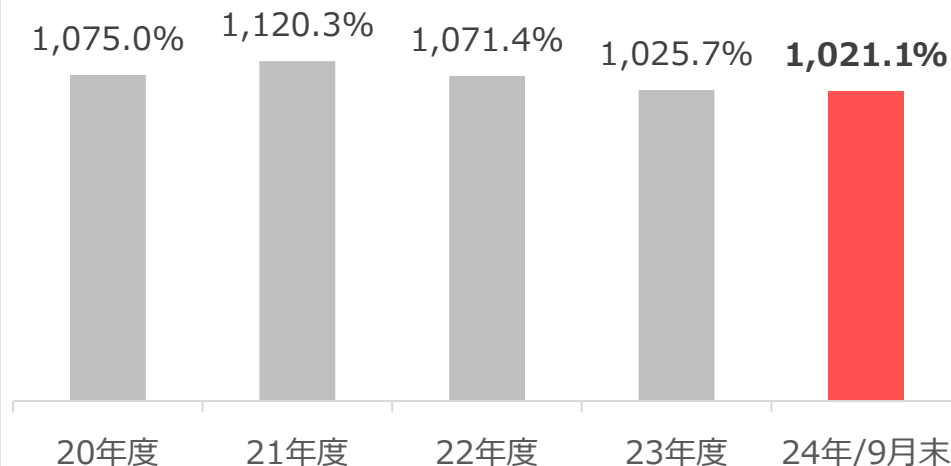
※ 【会社名称】 NAMインディア：ニッポンライフ・インディア・アセットマネジメント、レゾリューション：レゾリューションライフ、ニチイHD：ニチイホールディングス

※ ニチイホールディングスの数値は、連結後の実績（2024年7月以降）

⑤ 健全性

- ソルベンシー・マージン比率は、ニチイホールディングス連結に伴うのれんの増加等により、前年度末比で低下。
- 実質純資産は、有価証券含み益の減少等により、前年度末比で減少。

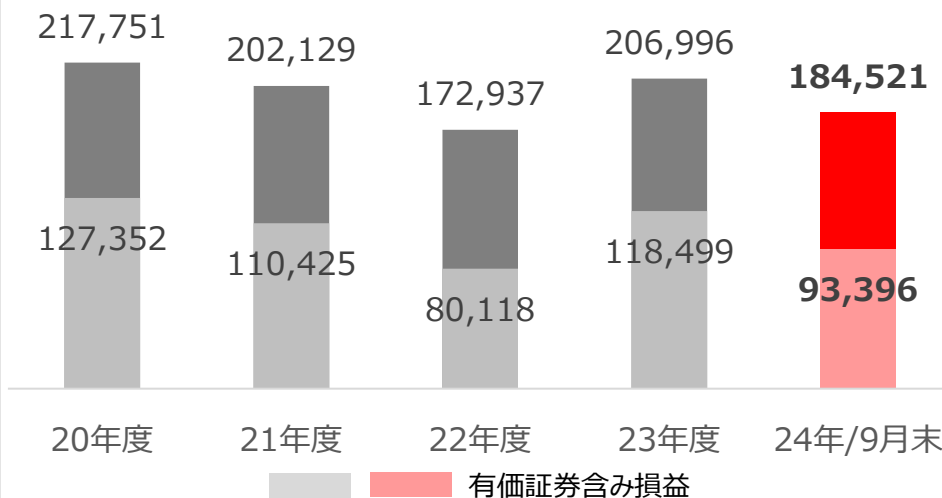
ソルベンシー・マージン比率



※ 22年度以降、MLCの数値は新会計基準適用数値

(単位：億円)

実質純資産



※ 有価証券含み損益は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、海外保険子会社、その他連結対象子会社を対象に算出
 ※ 22年度以降、MLCの数値は新会計基準適用数値

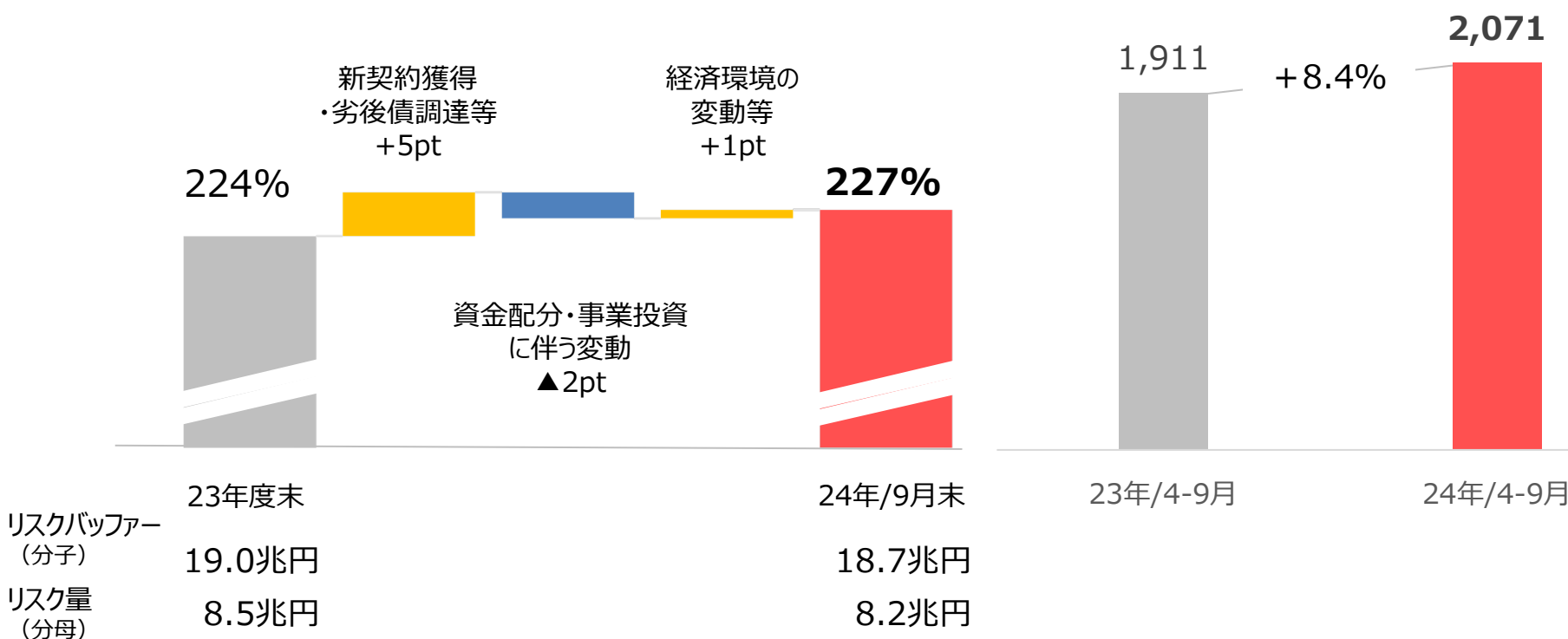
⑥ ESR・新契約価値

- 経済価値ベースのソルベンシー比率（ESR）は、事業投資により低下する一方、新契約獲得や劣後債調達に伴う変動等の影響により、前年度末比で上昇。
- 新契約価値は、金利上昇の影響やニッセイ・ウェルスの増加により、前年同期比で増加。

経済価値ベースのソルベンシー比率（ESR）

新契約価値

（単位：億円）



⑦ 損益計算書・貸借対照表

損益計算書

- 経常利益は、前年同期比で増加。
- 中間純剰余は、前年同期比で増加。

(単位：億円)

	2024年 4-9月	前年同期比
経常収益	55,662	▲8.1%
保険料等収入	39,956	▲2.8%
資産運用収益	13,446	▲26.0%
経常費用	52,270	▲11.6%
保険金等支払金	34,327	+12.1%
資産運用費用	7,052	+8.3%
事業費	4,853	+23.2%
経常利益	3,391	+132.4%
特別損益	▲898	▲214.2%
中間純剰余（利益）	2,007	+97.7%

貸借対照表

- 総資産・負債は、前年度末比で減少。
- 純資産は、前年度末比で減少。

(単位：億円)

	2024年 9月末	前年度末比
総資産	959,674	▲1.7%
うち有価証券	797,017	▲2.4%
うち貸付金	88,732	▲0.4%
うち有形固定資産	19,627	+3.5%
負債	866,155	▲0.5%
うち保険契約準備金	748,205	+0.8%
うち責任準備金	733,019	+0.6%
うち価格変動準備金	18,178	+4.9%
純資産	93,519	▲11.3%

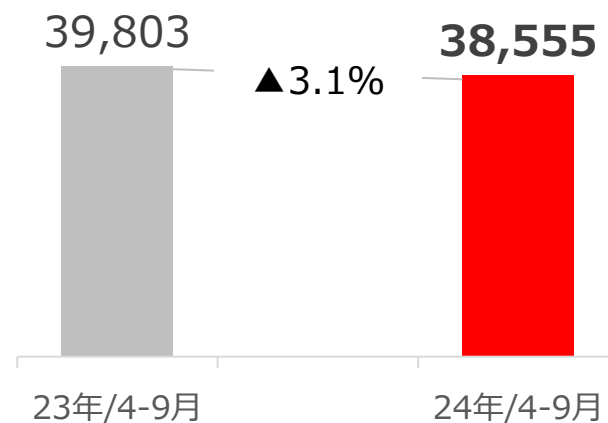
※ 中間純剰余（利益）は親会社に帰属する額を記載

① 保険料等収入

- 一時払商品の販売減による金融機関窓販チャネルの減少を主因に減収。
- 受管減等の影響により、団体年金は減収。

保険料等収入（国内計）

（単位：億円）



	2024年 4-9月	前年同期比
保険料等収入（国内計）	38,555	▲3.1%
うち個人保険・個人年金保険	26,652	▲2.1%
営業職員チャネル	16,803	▲0.2%
代理店チャネル	2,938	+5.2%
金融機関窓販チャネル	6,911	▲9.1%
うち団体保険	1,507	+1.7%
うち団体年金保険	5,047	▲10.8%

※ 日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、ニッセイプラス少額短期保険の合計値

② 新契約

■ 個人保険・個人年金保険における新契約の年換算保険料は減少、件数は増加。

個人保険・個人年金保険

年換算保険料

件数

(単位：億円、万件)

	2024年 4-9月	前年同期比	2024年 4-9月	前年同期比
国内計	2,485	▲1.8%	220	+9.5%
うち主要保障性商品*	342	▲5.8%	183	+11.7%
営業職員チャネル	958	+2.2%	196	+10.6%
代理店チャネル	359	▲5.8%	13	+0.8%
金融機関窓販チャネル	1,156	▲4.2%	8	▲16.1%
日本生命	1,147	▲6.4%	195	+9.6%
大樹生命	185	+1.0%	6	▲6.2%
ニッセイ・ウェルス生命	1,089	+2.4%	6	+9.8%
はなさく生命	63	+10.4%	11	+20.7%

* 死亡・生前給付を保障する商品および医療系商品を「うち主要保障性商品」として定義（終身保険や長期定期保険等は除く）、件数は概算

※ 海外含みの新契約年換算保険料は約2,535億円

③ 保有契約

- 個人保険・個人年金保険の保有契約の年換算保険料は横ばい、件数は減少。
- 団体保険・団体年金保険は増加。

(単位：億円、万件)

個人保険・個人年金保険

	年換算保険料		件数	
	2024年 9月末	前年度末比	2024年 9月末	前年度末比
国内計	47,668	+0.2%	3,821	▲0.6%
うち主要保障性商品*	13,051	▲0.9%	2,491	▲0.6%
日本生命	37,101	▲0.8%	3,447	▲1.0%
大樹生命	5,115	▲1.1%	250	▲0.6%
ニッセイ・ウェルス生命	5,065	+8.9%	58	+10.9%
はなさく生命	385	+14.1%	65	+16.1%

* 死亡・生前給付を保障する商品および医療系商品を「うち主要保障性商品」として定義（終身保険や長期定期保険等は除く）、件数は概算
 ※ 海外含みの保有年換算保険料は約5兆216億円

団体保険・団体年金保険

	団体保険 (保障額等)		団体年金保険 (受託資産等)	
	2024年 9月末	前年度末比	2024年 9月末	前年度末比
国内計	1,085,986	+0.7%	202,821	+1.8%
日本生命	976,473	+0.8%	139,444	▲0.4%
大樹生命	109,512	▲0.3%	5,863	▲1.9%
その他	—	—	57,513	+8.0%

※ その他の内訳は、
 ニッセイ・ウェルス生命（12億円）、
 ニッセイアセットマネジメントの投資顧問残高（46,213億円）、
 確定拠出年金の投資信託（日本生命販売分11,286億円）

① 2024年度 業績見通し

- 保険・サービス収益は、日本生命およびニッセイ・ウェルス生命における減少を主因に減収。
- 基礎利益は、利息及び配当金等収入の増加を主因に増益。
- 保有年換算保険料・新契約価値は増加。

(単位：億円、百万豪ドル)

保険・サービス収益 (保険料等収入+その他経常収益)			基礎利益		保有年換算保険料 (国内グループ計)	
	2023年度 実績	2024年度 見通し	2023年度 実績	2024年度 見通し	2023年度 実績	2024年度 見通し
グループ計	88,888	約78,900				
(保険料等収入)	(85,983)	(約73,600)	7,640	約9,000	47,563	約48,000
日本生命	54,114	減収	7,087	増益	新契約価値 (グループ計)	
大樹生命	9,420	減収	145	増益		
ニッセイ・ウェルス生命	20,672	減収	374	増益		
はなさく生命	409	増収	▲ 172	増益		
MLC	1,858	増収	▲0	減益		
ニチイホールディングス	〈3,028〉 ^{*1}	〈増収〉 ^{*1}	〈159〉 ^{*2}	〈減益〉 ^{*2}	2023年度 実績	2024年度 見通し
					3,260	約3,600

*1 ニチイホールディングスについては、2023年度の売上高および、それに対する2024年度の売上高の増減見通しを記載

*2 ニチイホールディングスについては、2023年度の税引前純利益および、それに対する2024年度の税引前純利益の増減見通しを記載

※ 保険・サービス収益の合計値は、連結損益計算書における保険料等収入およびその他経常収益の合計

※ 保険料等収入のグループ計は、連結保険料等収入（日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、ニッセイプラス少額短期保険、MLC、米国日生を対象に算出）

※ 基礎利益のグループ計は、日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の基礎利益、海外保険子会社・関連会社および国内外のアセットマネジメント事業子会社・関連会社、ニチイホールディングスの税引前純利益に、持分比率を乗じ、金利変動要因の除外、一部の内部取引調整等を行い算出

※ MLCの保険・サービス収益は収入保険料。基礎利益は税引前純利益に持分比率、金利変動要因等の除外を行い算出（現地通貨ベース）

【参考】中期経営計画（2024-2026）における数量目標の進捗状況

- 今年度よりスタートさせた中期経営計画は、お客様本位の業務運営のもと、5つの戦略軸（国内保険事業のバリューアップ・国内における安心の更なる多面化・海外事業の拡大・財務戦略のステージアップ・強固な経営基盤構築）に沿って取り組みを進めており、各領域おおむね計画に沿って進捗。

社会に提供する価値

	2023年度末	2024年度 9月末	目標値 (2026年度末)
お客様数 (国内グループ)	1,492 万名	1,493 万名	1,560 万名
顧客企業数 (国内グループ)	34 万社	34 万社	35 万社
預かり資産 (国内グループ)	109 兆円	108 兆円	112 兆円
(参考：グループ全体)	118 兆円	118 兆円	121 兆円

当社グループの成長

	2023年度末	2024年度 9月末	目標値 (2026年度末)
保有年換算保険料 (国内グループ)	4.75 兆円	4.76 兆円	4.85 兆円
新契約価値 (グループ全体)	3,260 億円	(4-9月) 2,071 億円	3,500 億円
基礎利益 (グループ全体)	7,640 億円	(4-9月) 4,866 億円	8,600 億円

健全性・ご契約者配当

	2023年度末	2024年度 9月末	目標値 (2026年度末)
ESR (グループ全体)	224 %	227 %	200～270%

※「お客様満足度」・「お客様配当性向」は年度末決算時にのみ記載

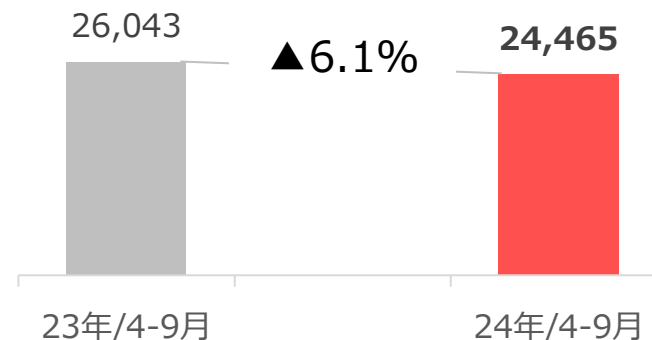
【参考】 グループ各社の概況

日本生命（単体）：収支

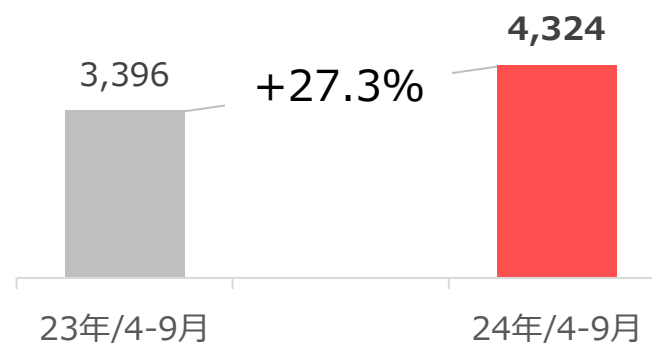
- 日本生命単体は、前年同期比で減収・増益。
- 保険料等収入は、金融機関窓販チャネルの減少や団体年金での減少を主因に減収。
- 基礎利益は、利息及び配当金等収入の増加を主因に増益。

保険料等収入

（単位：億円）



基礎利益



	2024年 4-9月	前年同期比
基礎利益	4,324	+27.3%
利差益	2,223	+67.4%
保険関係損益*	2,101	+1.6%

* 費差益と危険差益の合計

日本生命（単体）：資産運用

- 資産運用収支は、前年同期比で減少。
- 資産運用収益は、利息及び配当金等収入の増加を主因に増加。
- 資産運用費用は、為替差損の増加を主因に増加。

資産運用収支（一般勘定）（単位：億円）

	2024年 4-9月	前年同期比
資産運用収益	11,473	+141
うち利息及び配当金等収入	8,854	+951
うち有価証券売却益	2,617	+403
資産運用費用	4,559	+263
うち有価証券売却損	1,846	▲518
うち有価証券評価損	43	+24
うち金融派生商品費用	1,402	+95
うち為替差損	483	+483
資産運用収支	6,913	▲122

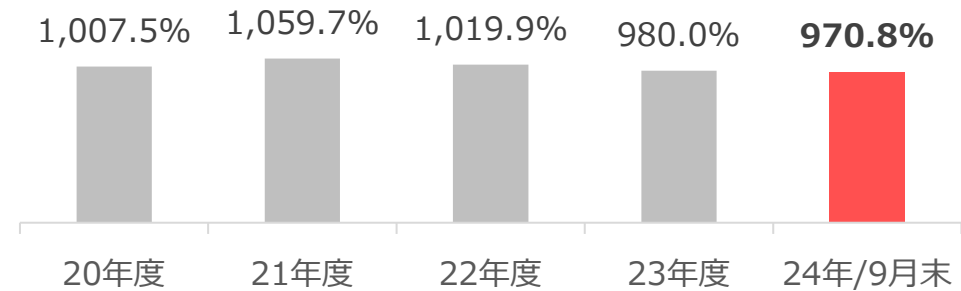
マーケット状況



日本生命（単体）：健全性

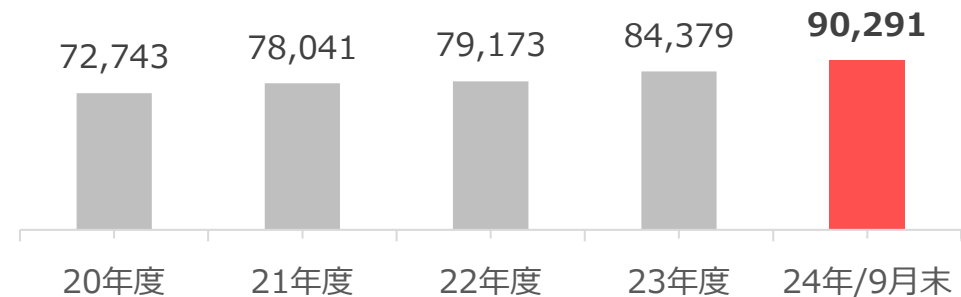
- ソルベンシー・マージン比率は、ニチイホールディングス連結に伴う子会社等リスクの増加等により、前年度末比で低下。
- 有価証券の含み益は、国内株価の下落や国内金利の上昇により、前年度末比で減少。

ソルベンシー・マージン比率



自己資本

（単位：億円）



有価証券 含み損益

（単位：億円）

	2024年 9月末	前年度末比
有価証券	96,327	▲ 23,700
公社債	▲ 20,188	▲ 10,072
国内株式	83,320	▲ 12,457
外国証券	32,623	▲ 859
その他	571	▲ 311

※ 市場価格のない株式等および組合等は除いて算出

日本生命（単体）：継続率・代理店数・営業職員数

	2024年 9月末	前年度末比	前年同期比	(ご参考)	
				前年度末	前年同期末
新規6月目継続率	97.5%	-	-	97.5%	97.5%
合計13総合継続率	95.4%	▲ 0.2pt	▲ 0.5pt	95.6%	95.9%
代理店（単位：店）	19,061	▲ 101	▲ 33	19,162	19,094
うち金融機関	298	± 0	± 0	298	298
営業職員（単位：名）	48,232	+ 295	▲ 704	47,937	48,936

※ 新規6月目継続率とは、新規契約かつ月払の6月目継続率

※ 合計13総合継続率とは、新規・転換契約の合計で、月払・年払・一時払のすべての保険料の支払い方法を含んだ13月目継続率

※ 2024年度9月末の「新規6月目継続率」の対象は、2023年9月から2024年2月までの新規契約

※ 前年度末の「新規6月目継続率」の対象は、2022年9月から2023年8月までの新規契約

※ 前年同期末の「新規6月目継続率」の対象は、2022年9月から2023年2月までの新規契約

※ 2024年度9月末の「合計13総合継続率」の対象は、2023年1月から6月までの新規および転換契約

※ 前年度末の「合計13総合継続率」の対象は、2022年1月から12月までの新規および転換契約

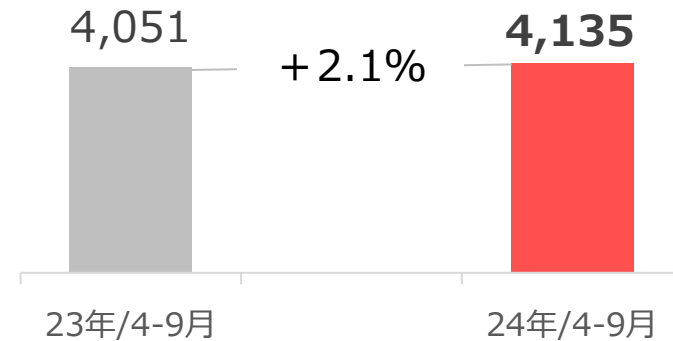
※ 前年同期末の「合計13総合継続率」の対象は、2022年1月から6月までの新規および転換契約

大樹生命

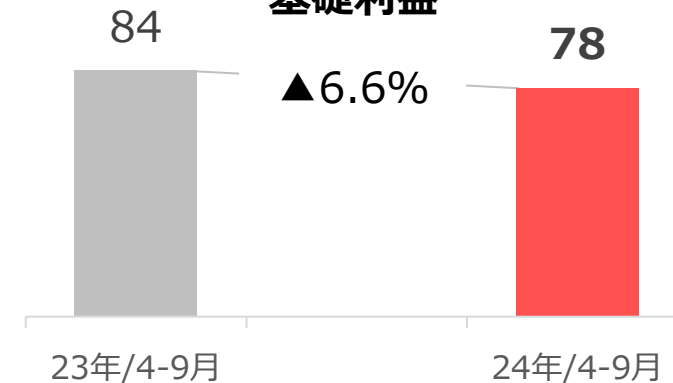
- 前年同期比で増収・減益。
- 保険料等収入は、再保険収入の増加等により増収。
- 基礎利益は、利差損が改善した一方、保有契約の減少に伴う危険保険料の減少等による保険関係損益の減少により減益。

保険料等収入

(単位：億円)



基礎利益



	2024年 4-9月	前年同期比
基礎利益	78	▲6.6%
利差益	▲ 162	+23.1%
保険関係損益*	241	▲18.4%

* 費差益と危険差益の合計

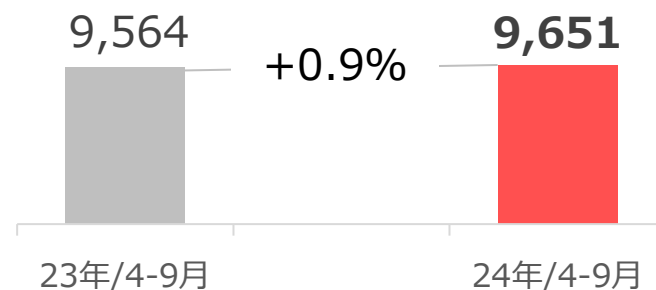
※ 単体の数値を記載

ニッセイ・ウェルス生命

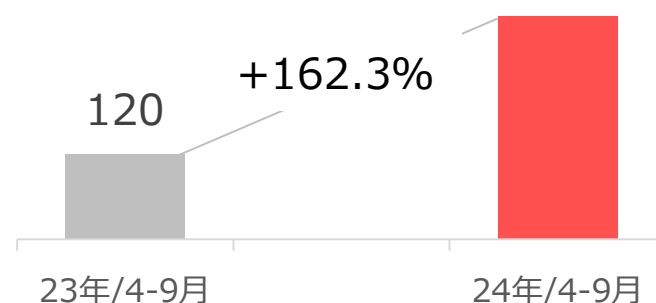
- 前年同期比で増収・増益。
- 保険料等収入は、外貨建一時払商品の販売増を主因に増収。
- 基礎利益は、利息及び配当金等収入の増加を主因に増益。

保険料等収入

(単位：億円)



基礎利益



	2024年 4-9月	前年同期比
基礎利益	315	+162.3%
利差益	295	+86.5%
保険関係損益 ^{*1}	19	(増益) ^{*2}

*1 費差益と危険差益の合計

*2 当年度と比較対象年度の数値が異符号のため、増減率算出不可

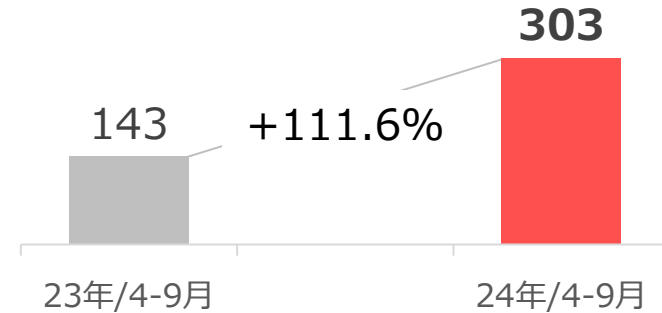
※ 単体の数値を記載

はなさく生命

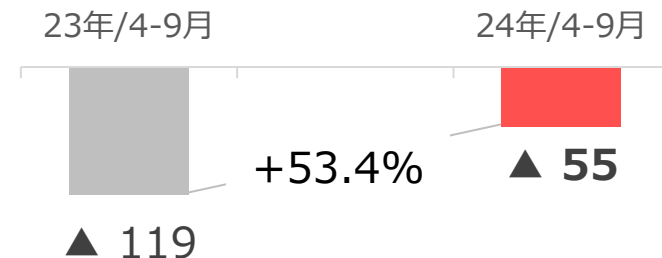
- 前年同期比で増収・増益。
- 保険料等収入は、医療保険等の販売増および再保険収入の増加を主因に増収。
- 基礎利益は、事業拡大による事業費等の支出増の一方、再保険の活用に伴う新契約費の負担減少等による保険関係損益の改善を主因に増益。

保険料等収入

(単位：億円)



基礎利益



	2024年 4-9月	前年同期比
基礎利益	▲ 55	+53.4%
利差益	1	+191.8%
保険関係損益*	▲ 56	+52.4%

* 費差益と危険差益の合計

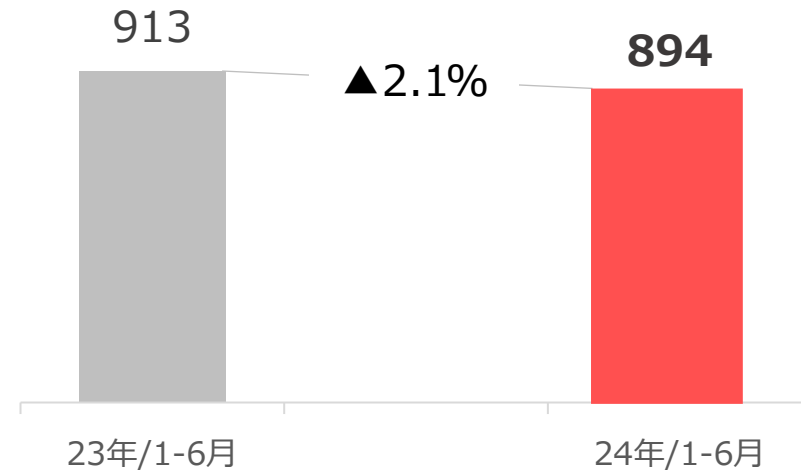
※ 単体の数値を記載

MLC

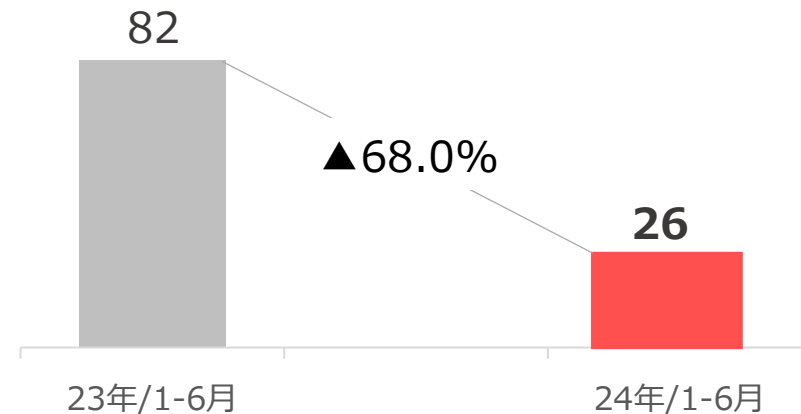
- 対23年1-6月で減収・減益。
- 収入保険料は、団体保険領域における収入減を主因に減収。
- 基礎利益は、個人保険領域における保険金支払増加を主因に減益。

収入保険料

(単位：百万豪ドル)



基礎利益



※ 単体の数値を記載

※ 第2四半期決算では1-6月期を連結反映

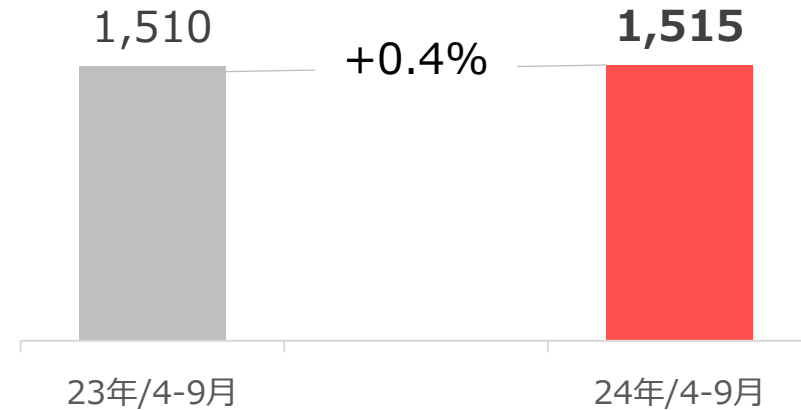
※ 収入保険料は、日本会計基準に基づいた実収ベース（旧会計基準）で表示

ニチイホールディングス

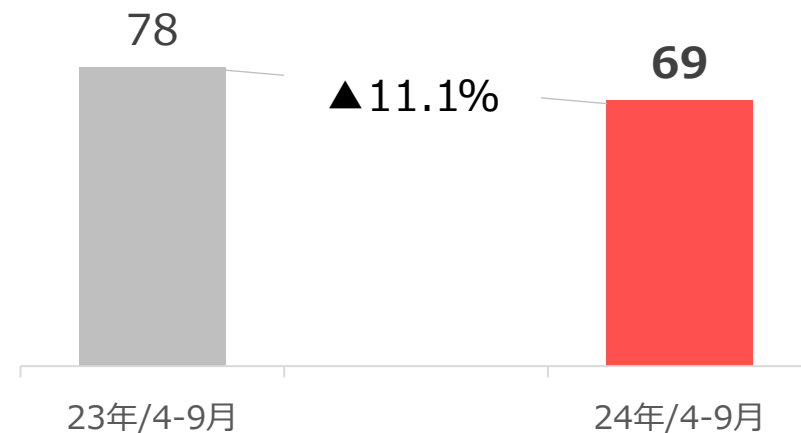
- 前年同期比で増収・減益。
- 売上高は、介護領域における施設入室数増等もあり横ばい。
- 税引前純利益は、人件費増による営業利益の減少に加え、営業外収入の減少等により減益。

売上高

(単位：億円)



税引前純利益



※ 単体の数値を記載

1. 定義・概要

ESR（Economic Solvency Ratio）：

グループ全体のリスク量に対する資本（リスクバッファー）の十分性を示す比率で、リスク量およびリスクバッファーは、保有する資産および負債の経済価値※¹に基づき計算しています。

リスクバッファー（ESRの分子）：

リスクに対処するために使用できる資本で、連結貸借対照表上の純資産に、価格変動準備金、危険準備金等の負債性の内部留保、劣後特約付債務、満期保有目的債券、責任準備金対応債券、貸付金、不動産等の資産の含み損益および保険負債の含み損益を合計したもののから、処分予定の剰余金やのれん等の無形資産を控除したものです。

なお、保険負債の含み損益は、保有契約から生じる将来の利益の現在価値を評価したものから、オプションと保証の時間価値※²とリスクマージン※³を控除することにより算出しています。

リスク量（ESRの分母）：

当社を取り巻く環境の変化により、発生しうる損失を統計的に評価したもので、生命保険リスク、巨大災害リスク、市場リスク、信用リスク、経営管理リスクを計測しています。各リスクは、将来1年間で99.5%の確率で発生する最大の損失として、バリュー・アット・リスク（VaR）等の方法で計測しています。

新契約価値：

期中に締結した保険契約（転換契約を含む）から生じる将来の利益の現在価値を評価したもの※⁴で、保険負債の含み損益算出に用いたものと同じ計算前提を使用しています。

※¹ 市場価格に整合的な評価又は、市場に整合的な原則・手法・パラメーターを用いる方法により導かれる将来キャッシュフローの現在価値のこと。

※² 利率や給付額の最低保証など、不利な経済環境下でも保険会社が保証を行うことに伴うコストを評価したもの。

※³ 保険契約に関する将来キャッシュフローの変動に備えるための必要額。

※⁴ また、新契約にかかるオプションと保証の時間価値を控除しています。

2. 計算前提

経済前提

（a）リスク・フリー・レート

参照金利として評価日現在の国債利回りを使用しています。※⁵

（b）割引率

キャッシュ・フローの発生年限に対応した区分ごとに設定しています。

第1区分（経過0～30年目）

負債と同通貨の各国債金利のスポット・レート（リスク・フリー・レート）に各社の実績等を基に、運用期待収益率を上乗せ。

第2区分（経過30～60年目）

終局金利※⁶を仮定し、補外開始年度を30年目として31年目以降のフォワード・レートが30年間で終局金利の水準となるようにスミス・ウィルソン法により補外。

第3区分（経過60年目～）

終局金利をフォワード・レートとして設定。

（参考）2024年9月末国債利回り

期間	円	米ドル	豪ドル
10年	0.9%	3.8%	4.0%
20年	1.8%	4.3%	4.6%
30年	2.3%	4.2%	4.8%

非経済前提

保険種類別に、過去の支払実績等に基づき、死亡率の改善やインフレ率等を勘案して、保険料、事業費、保険金・給付金、解約返戻金、契約者配当金等の将来キャッシュフローを予測しています。

※⁵ ただし、一部商品の新契約価値については、契約月の末日ないしは契約月の属する四半期末時点の経済前提を使用しています。

※⁶ 市場金利が観測できない超長期年限の負債の現在価値を評価する際に、フォワード・レートが一定の水準（終局金利）に収束するという考え方に基づき、超長期年限の金利を推計しており、円金利の終局金利は2.9%、米ドル3.5%、豪ドル4.0%としています。